

2020 11月

Vol.30

京丹波森林組合 もり 森林の便り

森林経営管理制度が動き出しました



(令和2年度南丹京丹波林業振興展で入賞した坂原生産森林組合所有林の間伐材)



発行:京丹波森林組合

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄木下9番地

TEL. 0771-84-0086 FAX. 0771-84-1018 / 企画・編集: 総務課



森林経営管理制度への取り組みについて

これまでも、森林経営管理制度の創設について掲載したところです。今号では、これからの森林経営管理制度への取り組みについてお知らせいたします。

【森林環境税と森林環境譲与税の関係】

森林環境税は令和6年度から住民税と併せて、年額1,000円を日本の納税義務者である約6,200万人から徴収されます。その後、森林環境譲与税として私有林の面積や林業従事者数などに応じて市区町村に配分され、下記の森林経営管理制度に基づく森林の整備費用等に充てられます。

森林環境税譲与税は、近年の異常気象による豪雨、台風等によって被害を受けた森林の再生等も急務なため、令和元年度から配布が始まり、本年度（令和2年度）は配分額が当初予定の200億円から400億円に倍増する事となりました。また、全額（600億円）配分する時期も令和6年度に前倒しされることとなりました。

森林経営管理制度の仕組み



適切な経営管理を実施していない森林について、

- ① 市町村が森林所有者に、所有する森林を今後どのように経営管理したいか、御意向を確認します。
- ② 所有者が市町村に経営管理を委託したいと回答頂いたときは、市町村と協議の上、必要に応じて経営管理の委託手続きを行います。

市町村に森林の経営管理を委託した場合、

- ③ 林業経営に適した森林は、市町村が林業経営者に経営管理を再委託し、
- ④ 林業経営に適さない森林は、市町村が自ら森林の管理を行います。



【京丹波町の森林環境譲与税の活用】

京丹波町では、森林環境譲与税を活用しながら、積極的に森林経営管理法に基づく措置等を講ずる事となり、町内において過去10年間施業履歴が無い、または、経営計画のたっていない森林から森林経営管理法に基づき意向調査を行うこととなりました。今回の取り組みが初めてということもあり、モデル地区として和知地区才原一ノ谷の一区画の森林所有者様を対象に意向調査を行いました。

(意向調査業務については、森林組合が町から委託を受け業務を行いました。)

意向調査説明会では、①森林経営管理制度について ②アンケート調査票の記入について ③今後の予定についてご説明いたしました。

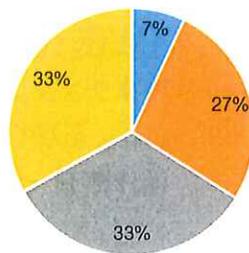
【意向調査説明会】会 場：才原生活改善センター

出席者：京都府担当者、京丹波町担当者、森林組合



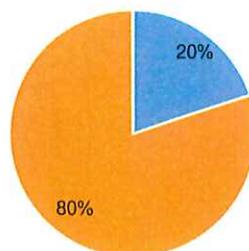
その後アンケートを実施した結果、以下の表のような結果となりました。

所有している山林の境界について



- 境界が明確にわかっている
- 境界が大体わかっている
- 場所はわかるが、境界は不明である
- 場所もわからない

所有している山林の将来について



- 自分で委託先を探し経営や管理を委託したい
- 町に経営や管理を委ねたい

今後、境界の明確化においては、境界のわからない森林所有者もあり、地元の林業推進委員様や地域の山を良くご存じの方にご相談し進めて行く計画としています。



新たな森林作業道開設による森林整備と利益還元

林業において「路網」は、造林、間伐、丸太の生産など、森林の手入れを行うための、もっとも重要な生産基盤です。

路網には一般的に公道としても利用される「林道」と、森林作業のための幹線となる、普通自動車や10トン積程度の大型トラックの走行を予定して開設する「林業専用道」、そして森林作業のために林業機械や2トン積程度の小型トラックの走行ができる「森林作業道」があります。

その中でも「森林作業道」は集材や間伐材の搬出をするために必要不可欠です。

今日の林業の搬出現場では、機械化も進みハーベスタやフォワーダ等の作業能率の高い高性能林業機械が多数有り、当組合も作業現場では、フルに活用しています。

生産基盤となる新たな「森林作業道」を開設することにより、こうした高性能林業機械が効率よく稼働し、生産性の向上・搬出経費の削減がより期待できます。

所有者皆様の山林の適正な管理や間伐材等の有効利用を図るためには、「森林作業道」はとても重要な役割を担っています。

当森林組合では、森林経営計画制度を利用した森林整備（間伐等）の計画と、新たな森林作業道の開設計画を作成し、対象となる森林所有者皆様と経営計画委託契約を結び、国や京都府からの補助金制度も利用し取り組んでいます。

そして、森林所有者の皆様からの費用負担は無しで事業を進めています。

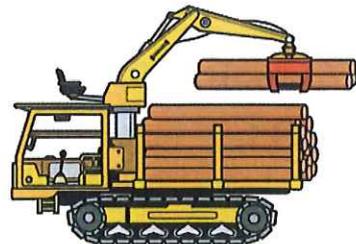
森林路網のイメージ図



ハーベスタ

(伐倒・枝払い・玉切り・集積)

従来チェーンソーで行っていた立木の伐倒、枝払い、玉切りの各作業と玉切りした材の集積作業を一貫して行う自走式機械。



フォワーダ (集材)

玉切りした短幹材をグラップルクレーンで荷台に積んで運ぶ集材専用の自走式機械。



経営計画制度を利用した作業現場紹介

(小野地区)

令和元年度に京丹波町小野愛宕地内の約11haの森林に於いて、森林作業道を幅員3.0m、延長878m開設し、搬出間伐により約840m³の間伐材を搬出し、森林所有者様に利益還元することができました。

作業完了後の林内には光が差し、風通しもよくなりました。



施業前の林内



施業完了の林内



作業道開設中



搬出作業中

森林作業道開設 実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
路線数	24路線	17路線	11路線	6路線
延長	7137m	8358m	4076.5m	1991m
備考			※災害復旧工事 30路線	※6月時点

よりお礼の手紙を頂きました

～ 京都府立林業大学校2年生 毛登山 宙生君

前略、この度のキャップストーン研修におきましては、お忙しいところ時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、きめ細やかな心配りやご指導を頂き、心より感謝いたします。

今回のキャップストーン研修では、あまり大学では体験できなかった選木や獣害対策ロープまきについて学ぶことができ貴重な経験となりました。また、搬出間伐では玉切りをする時に多くのアドバイスをいただき、玉切りの技術が上がったように感じます。

職員の皆様が丁寧に作業のアドバイスをして下さったので、順調に大きな失敗もなく作業を行うことができました。安全に気を付けて仕事をするのがどれだけ大切なのかを現場で実際に体験できて、今後は足場の確保を強く意識して作業することを課題として見つけました。

今後は、京丹波森林組合様より御教授いただきました貴重な体験を糧とし日々精進してまいりたいと存じます。

末筆ながら貴組合の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

キャップストーン研修



キャップストーン研修とは、ピラミッドの頂上の石を意味します。2年次の後期には、学習の総仕上げとして地域社会へ入り、知識を実践できる応用力を磨きます。



研修風景（選木作業と支障木伐採作業）

キャップストーン研修生お二人

～ 京都府立林業大学校2年生 本田 直希君

拝啓、秋色いよいよ濃く朝夕はめっきり冷え込むようになってまいりました。

京丹波森林組合様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと心よりお喜び申し上げます。この度のキャップストーン研修におきましては、お忙しいところ時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、ご丁寧なご指導をいただき心より感謝いたします。この度のキャップストーン研修では、様々な現場で仕事をさせていただき、アドバイスをもらいとても勉強になりました。特に印象に残ったことは蒲生での支障木伐採です。林業は森林の中で仕事をするこの方が多いと思っておりましたが、森林の外にも仕事の間があることを知り、この作業から林業をまた違った目線で見ることができました。また選木作業では、状態の悪い木やバランスを見て伐る木を選ぶのも大事ですが、先代の方々が枝打ちなどをして大事に育ててきたということも忘れずに作業するということが教えていただきました。今後、伐採などの作業をする際はこのことを忘れずに作業をしていきたいです。

今回の研修ではチェーンソーを多く使わせて頂き、チェーンソーの基本的な技術を磨くことができました。また、職員の皆様のおかげで怪我なく安全に扱うことができました。今後は、京丹波森林組合様より御教授いただきました貴重な経験を糧とし、日々精進してまいりたいと存じます。

末筆ながら貴組合の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



研修風景（選木作業と支障木伐採作業）

京丹波町消防団配備チェーンソーの整備点検の実施

日頃の組合員の皆様のご愛顧にお応えするべく、例年春に行っています「森林組合感謝DAY」についてはコロナ禍の影響で今年は開催を見合わせました。そのような状況の中、森林組合として何らかの形で組合員の皆様のお役に立てることができないか模索しておりましたところ、京丹波町消防団配備のチェーンソーの整備点検を実施することで、少しでもお応えできると思い、9月29日(火)に松山の瑞穂中央防災センター、9月30日(水)に役場和知支所をお借りし、当組合の技術力を活かし、瑞穂地区22台、丹波地区16台、和知地区18台の合計56台のチェーンソーの整備点検とソーチェーンの目立てを実施しました。

災害の発生により倒木等で交通障害等が生じた場合は、消防団員自らがチェーンソーを使用し対応に駆けつけます。常に使用できる状態に整備点検しておくことが重要ですが、できれば使わずに済むことを祈るばかりです。



(瑞穂地区・防災センター)



(役場和知支所)

刈払機・チェーンソー等の無料点検と展示販売を開催します

農繁期も終わり、日頃お使いになられていた刈払機・チェーンソー等の機械器具の整備点検の時期となりました。そこで、**11月22日(日)森林組合和知本所前、11月23日(月)森林組合瑞穂支所前**において、機械器具の無料整備点検を実施します。時間は両日とも**9時30分から15時まで**となっております。また、刈払機やチェーンソー等の機械類、山林用刃物等の手工具、のり網、バークたい肥等の物品の展示販売も行いますのでお気軽にお越しください。

森林組合感謝DAYの中止等については前の記事でも触れましたが、「今年は森林組合の売り出しも中止なんか?」とお問い合わせのお声もいただいておりますことから、小規模ではありますが2日間の日程で開催させていただきます。